

平成 28 年度教育に関する総合調査 調査結果の読み取りに当たって

岡山市では、「中学校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」(縦のつながり)と「岡山市地域協働学校」(横のつながり)を二つの柱として、自立に向かって成長する子どもを育てていく教育を推進しています。

そこで、今回の総合調査の結果についても、幼稚園・認定こども園から中学校までの縦の意識差と、児童生徒、保護者、教職員の関連した項目間を比べた横の意識差を見えています。さらには、経年変化にも着目して読み取ることとしました。

<児童生徒>

小学校、中学校の児童生徒の結果を比べると、全般的に肯定的な回答の割合は中学校の方が低くなっています。また、学年別に見ると、多くの項目で中学校 2 年生が最も低く、3 年生で回復するという傾向が見られます。これらの傾向は少し緩やかになってきているものの昨年度と変わっていません。また、15 項目中 11 の項目で肯定的な回答の割合が昨年度よりも高くなっています。

岡山市では、中学校区内の他校園との連携を図り、小学校と中学校のつながりを大切にしている取組を行っています。しかし、質問 4「学校の授業はわかりやすく楽しい」や質問 8「テレビを見たり、ゲームやメールをしたりするのが、長時間にならないように気をつけている」、質問 14、15「地域や岡山市の自然や歴史に対する興味や関心がある」などで、肯定的な回答の割合について、昨年度同様小学校と中学校との間に大きな差が見られ、その差は 15 ポイント以上となっています。

学校では、家庭での学習習慣や規則正しい生活習慣などの改善に向けての取組を家庭と連携して進めています。質問 5「家で苦手な教科の勉強をしている」、質問 6「家の手伝いを進んでしている」、質問 7「早寝早起きをするなど規則正しい生活をしている」、質問 13「自分で計画を立てて勉強している」での肯定的な回答の割合が、中学校では昨年度よりも 2 ポイント以上高くなっています。

岡山市では、平成 27 年度から、児童生徒の学力の定着を図るために、全ての授業で全ての先生が「めあて」を示し、「まとめ」を行う、「授業これだけは！」の取組を進めています。質問 4「学校の授業はわかりやすく楽しい」では、小学校、中学校ともに平成 27 年度、平成 28 年度と肯定的な回答の割合が高くなっています。

※肯定的な回答・・・「①あてはまる」と「②どちらかというにあてはまる」を合わせた回答

<保護者>

幼稚園・認定こども園、小学校、中学校の保護者の結果を比べると、肯定的な回答の割合は幼稚園・認定こども園の保護者が高く、小学校、中学校と順に低くなっていく傾向があります。この傾向は昨年度と変わっていませんが、今年度は、15項目中10の項目で肯定的な回答の割合が昨年度よりも高くなっています。

学校園では、人材を活用したり体験活動を充実させたりする教育活動を行っています。質問2「人材活用の推進」と質問3「体験活動の充実」の項目では、肯定的な回答の割合が昨年度よりも1ポイント以上高くなっていますが、昨年度同様に、幼稚園・認定こども園の保護者と小中学校の保護者との間に大きな差が見られます。

全国学力・学習状況調査の質問紙調査から、岡山市は家庭学習に関する課題があることがわかっています。保護者の質問6「あなたは、計画的に勉強するよう子どもにうながしている」では、肯定的な回答の割合が、0.7ポイント増の77.3%なのに対して、児童生徒の質問13「私は、自分で計画を立てて勉強している」では、肯定的な回答の割合が、小学校では1.7ポイント増の60.8%、中学校では2.3ポイント増の55.6%となっており、保護者の増加分よりも児童生徒の増加分の方が大きいことからその差は縮まってきているものの、依然として保護者と児童生徒との間に差が見られます。

公民館ではNPO法人と連携した取組を進めています。質問13「各種民間団体は、家族で参加できる体験活動を提供している」の項目では、肯定的な回答の割合が平成26年度から毎年3ポイント以上ずつ高くなっています。

※肯定的な回答・・・「①あてはまる」と「②どちらかというにあてはまる」を合わせた回答

<教職員>

幼稚園・認定こども園、小学校、中学校の教職員の結果を比べると、肯定的な回答の割合は幼稚園・認定こども園の教職員が高く、小学校、中学校と順に低くなっていく傾向があります。この傾向は昨年度と変わっていません。

岡山市では、思いやりの心や規範意識、向上心をもった岡山っ子の育成を目指し道徳教育を推進しています。教職員の質問2の「道徳教育の充実を通して、子どもたちの思いやりの心が育ってきていると感じる」という項目を見ると、幼稚園・認定こども園では96.3%に対して、小学校では79.2%に、中学校では70.3%と、幼稚園・認定こども園と小学校・中学校との間に大きな差が見られます。

岡山市が推進するESDについて、学校では総合的な学習の時間を中心に、地域の自然や歴史を教材とした学習を進めています。教職員の質問3や、保護者の質問8の「郷土を愛する心が育ってきていると感じるか」という項目を見ると、肯定的な回答の割合は、教職員が74.8%で保護者が67.4%となっています。これに対して、児童生徒の質問14、15の「地域や岡山市の自然や歴史に対する興味や関心がある」の項目の肯定的な回答の割合は、自然については小学校が61.4%、中学校が44.4%、歴史については小学校が57.1%、中学校が41.4%となっており、昨年度同様、教職員・保護者と児童生徒との間に差が見られます。

岡山市では、中学校区ごとの縦のつながりを生かした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～の推進に取り組んでいます。質問5「園では、小学校入学後の子どもの様子を知り、今後の園での指導に生かすようにしている」では1.6ポイント増の91.0%、質問9「中学校区内の他校園の教職員との連携を図り、校種間のつながりを大切にした教育活動を行っている」では0.7ポイント増の84.0%といずれも肯定的な回答の割合が昨年度よりも高くなっています。

※肯定的な回答・・・「①あてはまる」と「②どちらかというにあてはまる」を合わせた回答